

特集 平成29年度予算の紹介

市のお金の使い方

平成29年度の市の予算は、3月に行われた市議会の第1回定例会で議決され、成立しました。

今号では、平成29年度の予算の概要をグラフなどを使ってお知らせします。

▶問い合わせ 財政グループ (☎ 1331)

一般会計

市の9つの会計のうち、福祉や教育、経済対策など、市の基本的な事業を行うのが『一般会計』です。平成29年度の一般会計予算は200億3千万円となりました。扶助費（生活保護費や福祉関係の給付費などの社会保障費）が3億6千万円増加する一方で、普通建設事業費（学校の建て替えや道路の整備などにお金）が11億3千万円減少したことなどにより、前年度に比べ、9億8千万円減少しました。

特別会計

国民健康保険事業や介護保険事業など、用途が決まった収入（保険料や使用料など）で特定の事業を行うのが『特別会計』です。市には6つの特別会計があり、平成29年度の特別会計予算の合計は118億7千770万円となりました。

公営企業会計

民間企業と同様に、独立採算を原則として事業を行うのが『公営企業会計』です。

市には、水道事業と下水道事業があり、平成29年度の公営企業会計予算の合計は53億4千580万円となりました。

平成29年度の一般会計予算では、**基金（貯金）を5億円取り崩します**

平成29年度の支出を見積もったところ200億3千万円となりましたが、収入は195億3千万円の見込みとなったため、5億円の財源不足が生じました。

この財源不足については、基金を取り崩して対応することとして予算を編成しましたが、皆さんの家庭と同じく、市の財政も一定の蓄えが必要ですので、できるだけ基金残高を確保し、将来にわたって安定的な財政運営が図られるよう、引き続き、収入の増加や支出の節約に努めていきます。

